

## 国際がん看護学会「最優秀ポスター賞」受賞



大学院医歯薬学総合研究科  
岩永 喜久子 助教授

大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座健康推進看護学分野の岩永喜久子助教授は、「The incidences of cancer among Nagasaki atomic bomb survivors（長崎原爆被爆者におけるがんの発生）」により、第14回国際がん看護学会最優秀ポスター賞を9月30日（土）に受賞しました。

同賞は、International Society of Nurses Cancer Care（国際がん看護学会）が、2年に1度開催する同学会におけるポスター演題の中から、最も優れた演題に対して授与するものです。今回は、約2,000名の出席者の投票により、372演題から3部門（Research, Practice, Education）のBest Poster Awardが選出され、さらにその中から最優秀演題として『Delegate's Choice Award for Best Poster（最優秀ポスター賞）』が岩永助教授に授与されました。

なお、表彰は同日、同学会（シェラトンセンター・トロント（カナダ・トロント市））において行われました。

（医歯薬学総合研究科学術協力課）